

社会の変化

- ◆人口減少・少子高齢化は、地域の中でのコミュニティの後退や地方自治体での財政問題にもつながり、地域間格差が広がることが想定されます。
- ◆地域の住民がともに支え合う「地域共生社会」の構築が求められています。
- ◆ライフスタイル・価値観の多様化、「貧困」「格差」「孤立」など生活課題も複合化する中で、必要な援助の内容も複雑化しています。

ありたい姿と重点課題

「みんなのしあわせ」を「みんな」の「支え合い」で実現することをありたい姿として掲げ、助け合い・支え合いの輪を広げるために重点課題を設定しました。

重点課題

- ①毎日の食生活に困らず、誰もが住み慣れた街で自分らしく暮らせるよう、各事業の改革をすすめます。
- ②行政や他団体の皆さんとともに誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。

いばらきコープ 社会福祉政策

一人ひとりの暮らしや
地域に貢献していくため
地域社会の一員として組合員に限らず
社会全体の「みんなのしあわせ」を
「みんな」の「支え合い」で実現していくという
決意を込めました

いばらきコープ 社会福祉政策は

「連携」
「支えあい」
「総合力」
「地域とともに」

を大切にします



いばらきコープ
社会福祉政策の
詳細についてはこちら

お問い合わせ先

いばらきコープ生活協同組合 総合企画室
〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地1703

0120-160-231

(月～金 9:00～17:30)

発行日 2023年4月1日

いばらきコープ

社会福祉政策



CO-OP

ともに はぐくむ くらしと未来



co-op
コープデリ

いばらきコープ

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

「みんなのしあわせ*」を「みんな」の「支え合い」で

宅配・店舗事業

- 誰もがストレスなく、利用し続けられる仕組みを作る

- 宅配**
 - ・Wi-Fiクリーコープ(宅配)
 - ・高齢者向けカタログ「らくらくコープデリ」
 - ・デイリーコープ(夕食宅配)
 - ・くらし応援割引制度
 - ・お届け確認メールサービス
 - ・カタログ「足したり引いたりからだの願い」「いきいきくらす」「きらきらキッズ」の発行
- 店舗**
 - ・店舗ドライブスルー
 - ・移動販売「ふれあい便」



商品

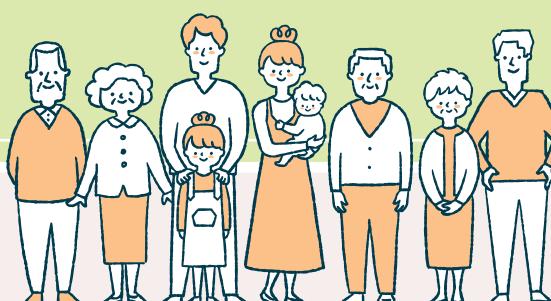
- 健康を維持し、
よりよい暮らしを送れるような
商品の開発と品揃えに努める



いばらき
コープ

地域共生社会へ

組合員
地域住民



生協の総合力

- 一人の困りごとに対して、
すべての事業と参加とネットワーク*1で
重点地域を設定して取り組む

*1 参加とネットワーク…組合員の願いを実現するために自ら進んで行う活動、組織

- ・社会貢献積立金



福祉介護事業

- 他の協同組合や事業者等との
連携を模索しながら、
組合員の生涯に関われる生協を目指す

- ・地域密着型デイサービスや
サービス付き高齢者向け住宅の開設
- ・「生協10の基本ケア」
- ・一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構への参加



社会的役割が發揮できる生協に

- 暮らしや地域の問題を学び、考え合うことから参加の輪を広げていく
- 組合員活動経験者のスキルを活かし、地域での活動参加を応援する
- 仕組み作りや、職員の多様性を認め活き活きと働く職場環境を作る

・組合員活動

- ・くらしの助け合いの会
- ・声の商品案内うぐいす
- ・ふれあい食事会
- ・ほぺたんコミュカフェ
- ・子育てひろば
- ・ほぺたん食堂
- ・コープサロン

・給付型奨学金制度

の中はこれまでの
取り組み事例です
詳細についてはいばらきコープの
ホームページをご覧ください



地域とともに取り組む

- 過疎化・高齢化がより進む地域では他サービスと連携しライフラインの維持に取り組む
- 協同組合・行政・企業・団体・個人との連携、協働のネットワークを豊かにする
- 福祉介護施設は地域の拠点としての活用を目指す
- バリアフリー化*2などの社会基盤の整備のため主体的に関わる

*2 生活していくうえでの物理的、社会的、制度的、心理的な障壁などをすべて取り除く考え方

・いばらきコープが参加・協力している地域の行政や団体の取り組み

- ・おたがいさま水戸
- ・第一層協議体
- ・消費者サポートいばらき
- ・見守り協定
- ・災害時協定
- ・フードバンク茨城
- ・くらしの電話相談ダイヤル